



鴻巣西中通信

学校だより No.6

学校教育目標 「心豊かで たくましい 西中生」
公式ホームページ <https://konishi-j-konosu.edumap.jp/>

鴻巣市立鴻巣西中学校
鴻巣市大間1161番地
令和7年10月1日

裏切らない努力と受け継がれる想い

校長 三杉 紀文

9月になっても気温の高い日が続き、夏がいつまで続くのだろうと感じさせられましたが、日の出、日の入りの時刻は確実に早くなっています。

さて、9月25日（木）から（※陸上部は24日（水）から）は新人戦の北足立北部班大会が行われました。結果として大会3日目（27日）にまで5部活（うちチーム競技が4）が勝ち上がり、各会場の応援に回るのに大わらわと嬉しい悲鳴を上げることになりました。暑い中、連日、応援に駆けつけて下さった保護者をはじめ皆様、ありがとうございました。今大会は3年生が引退し、代替わりして初めての公式大会。生徒たちには慣れない中で戸惑いを感じた部分もあったかと思いますが、積み上げてきた努力や成長の姿が見られました。

たとえば、男子テニス部では、いいプレーの後に自ら声を出して自分たちを鼓舞し、ペースを作っていこうとする工夫が見られて、今まで以上の成長を感じさせられました。女子バスケット部は、インサイドに入らせないディフェンスの運動量に磨きがかかり、1回戦では前半1点差の競り合いながら、後半はわずか3失点に抑えて突き放しました。陸上部は自己ベストが続出し、個人種目に加えてリレー種目など、夏場の地道な練習の成果が出ていました。男子バスケット部は、特に決勝戦、ボールを持っていない選手へのディフェンスも運動量豊富。サッカー部は今大会から鴻巣南中との合同チームとなりましたが、南中の生徒ともしっかり融合して、フィールド外の選手も声が出ていました。

また、試合以外でも胸が熱くなることがありました。引退した3年生は応援に行くことができませんが、野球部では大会前に3年生が1・2年生に手書きの熱いメッセージを贈っていて、それが会場に置かれていました。

「大会は何が起きるか本当に分からない。試合中にエラーとかのミスは多分起きる。けど、みんなは冬にやったサーキットとか、夏の走り込みとか、いっぱいやったよね。僕らは特等席でみんなの努力いっぱい見てきたからわかるよ。どこよりも強いチームだってこと。だから大丈夫。」（抜粋）

これを見つけた私に「先輩からの手書きです」と1・2年生が誇らしげに言っていました。これを贈れる3年生たちの存在と大事に受け取っている1・2年生に、とても嬉しくなりました。

